

平成 23 年日本熱物性学会第 3 回(2011-3)役員会議事録

日時：平成 23 年 10 月 1 日(土) 役員会 13:30 ～ 16:30

場所：芝浦工業大学豊洲キャンパス 研究棟 5F 大会議室

出席者：(五十音順・敬称略)

赤坂亮(九州産業大学)	木下進一(大阪府立大学)
熊野寛之(信州大学)	佐藤讓(東北大学大学院)
柴田浩幸(東北大学)	杉山久仁子(横浜国立大学)
高橋一郎(山形大学)	竹歳尚之(産業技術総合研究所)
長坂雄次(慶應義塾大学)	馬場哲也(産業技術総合研究所)
春木直人(岡山大学)	東之弘(いわき明星大学)
牧野俊郎(京都大学)	正木匡彦(芝浦工業大学)
宮崎康次(九州工業大学)	桃木悟(長崎大学)
山口朝彦(長崎大学)	山田修史(産業技術総合研究所)
山田純(芝浦工業大学)	山田盛二(敷島製パン)
山本泰之(産業技術総合研究所)	

審議事項：

馬場会長よりご挨拶があった。配布資料の確認が行われた。

議 題：

(1) 前回議事録確認(第 2 回 4 月 23 日)……………資料番号: 11-4-1 役

山本評議員より、資料 11-4-1 役に基づき、前回議事録の確認があり、一部の誤記を訂正したうえで了承された。

(2) 第 32 回日本熱物性シンポジウムについて……………資料番号: 11-4-2

長坂シンポジウム実行委員会委員長より、資料番号 11-4-2 に基づいて報告があった。15 件の OS が企画された。プログラムの案を提示する。総講演数は 183 件である。2 日目に特別講演会が 2 件ある。座長の確認を行っているので、確認できた段階で、HP で公表する。論文集、CD-ROM の作成を進めている。事前参加申し込み期限が 10 月 14 日であるので、申し込みをお願いしたい。企業展示の募集を行っているとのこと。

(3) 総会に関する事項について……………資料番号: 11-4-6, 11-4-3, 4, 8②

名誉員顕彰者、学会賞授賞者について

牧野表彰委員会委員長より、資料 11-4-3, 4, 8②に基づいて、学会賞と名誉員の推薦について説明があった。学会賞の授賞に関して、論文賞 2 件、奨励賞 1 件を授与することを理事会にて了承されたとの説明があり、役員会でも了承された。功労賞、貢献賞の贈賞、名誉員の顕彰に関して、報告があった。

第33期会長、副会長候補者について

山田事務局担当より、第33期会長については、理事会で佐藤讓副会長にお願いすることが了承されたとの説明があり、役員会で承認された。副会長は、理事会で田中先生にご依頼することにしたとの説明があり、役員会で承認された。

第33期役員候補者

山田事務局担当より、資料11-4-5に基づいて、第33期役員候補者について説明があった。資料の通りに了承された。企業会員の役員がいなくなってしまったので、増やすようにしてはどうかとの意見が出て、来年度以降は増やすことになった。

総会議案書について

山田事務局担当より、資料11-4-6-0,1に基づいて、総会の議案について説明があった。総会の議案の(8)については表彰ではなく、「学会賞の表彰、名誉員の顕彰」とすることとしたとの説明があり、役員会で了承された。資料11-4-6-2に基づいて総会の進行表の案の説明があった。閉会の挨拶は山田副会長に変更することになった。

(4)第33回日本熱物性シンポジウム準備状況……………資料番号:11-4-7

柴田●●シンポジウム実行委員より、資料番号11-4-7に基づいて、第33回日本熱物性シンポジウムの準備状況の説明があった。日程と会場については、了承された。各種期限については検討中である。10月中に実行委員会の開催を予定しているとのこと。他の学会・シンポジウムの日程との関係は、それらの日程を外すようにして、決定したとのこと。事前参加申し込みの日と、論文の提出期限が同じだと、忘れてしまうのではという意見が出て、検討することとなった。来年度の理事会・役員会は、シンポジウムの会期に合わせて、今年よりは前倒しで行わなければならないという意見が出て、そのように検討することになった。8月号の学会誌にプログラムを掲載するためには、7月中にプログラムができるようをお願いしたいとの意見が出た。

(5)各種委員会報告……………資料番号:11-4-8

編集委員会

東編集委員会委員長より、資料11-4-8①に基づいて、熱物性11月号の編纂状況に関して説明があった。山田事務局担当の企画で論文を2件、掲載すること。解説は1件となった。研究分科会の報告についても掲載する予定。

熱物性値サービス委員会

山田熱物性値サービス委員会委員長より、資料11-4-8③に基づいて、熱物性値サービス委員会に関して説明があった。DBに収録された物質と物性の一覧をWebページに公開したいとの提案を行い、理事会で、公開する方向で了承されたとの報告があった。シンポジウムの予稿集をWebで公開したいとの提案を行い、古い論文は全コンテンツを、最新の論文はタイトルだけや1ページ目だけなどの限定した形で、学会のHPで公開するのがよいのではとの意見が、理事会で出たとの報告があった。1月の理事会までに

より詳細に検討して、改めて提案することになった。

活動委員会

桃木活動委員会委員長より、資料 11-4-8④に基づいて、活動委員会の説明があった。学生ベストプレゼンテーション賞の応募状況について報告があった。資料の対象者数が間違っていて、本年度は 41 名とのこと。受賞者の割合を何%とするか考えている。理事会では概ね 6 名とすることになったとの報告があった。審査方法は、昨年の方法を踏襲することにしたとのこと。初日の最初のセッションは、審査員の候補者がいない場合があるので、オーガナイザーに事前に依頼することになったとの報告があった。

広報委員会

宮崎広報委員会委員長より、資料 11-4-8⑤に基づいて、広報委員会の活動の報告があった。HP の更新を進めている。研究分科会の予定や、報告なども更新してゆくので、連絡がほしいとのこと。

(6)研究分科会報告……………資料番号:11-4-9

研究分科会

熊野評議員より、資料 11-4-9①に基づいて、「低温環境における熱物性の基礎と応用」の研究分科会について報告があった。

柴田評議員より、資料 11-4-9②に基づいて、「高温融体物性と材料プロセス」の研究分科会について報告があった。来年も継続することを 1 月の役員会で了承することとなった。

山田事務局担当より、資料 11-4-9③に基づいて、「宇宙材料の熱物性システムデザイン」の研究分科会について報告があった。30 周年記念出版の準備を進めている。分科会を来年以降も、継続して行うことの希望が示されているとのこと。

山田事務局担当より、資料 11-4-9④に基づいて、「水の特異な熱・輸送特性と応用に関する研究会」について報告があった。別紙 1 のとおりに、樫先生の案内で、学術講演会が開かれたとのこと。

(7)事務局報告

山田事務局担当より、資料 11-4-10 に基づいて、共催・協賛関係について説明があった。溶融塩化学討論会の共催の依頼があったとのこと。山田事務局担当より、資料 11-4-11 に基づいて、会員異動について説明があった。学生プレゼンテーション賞の関係で、学生会員が増加しているとのこと。

(8)その他

高橋規約等整備担当より、資料 11-4-12 に基づいて、研究分科会規程の案について説明があった。主査のみが会員であればよく、そのほかのオーガナイザーなどはじめ分科会の会員が学会員でなくてもよいとのこと。長坂理事から、分科会の発足の経緯と、その規程の検討の事情が説明された。来年の第 1 回の役員会までに、意見を募集することになった。主査だけが学会員で、そのほかの人は学会員でなくてもよいのかとの質問が出て、その方が、ほかの人が参加してもらいやすいという意見が出た。分科会を始めようとしても、1 月に承認を得なければはじめられないのでは、現実的でなくて困る。年の途に始めることも柔軟にできるようにしよう。1 月までに議論をまとめて理事会で了承を得るようなスケジュール

にすることとなった。規約ではなくて覚書の方がよいのではないかという意見が出たが、分科会に関しては規約のように表に出るものが良いとの意見も出て、広く意見を求めることになった。これまでの議論を活動委員会でさらに検討を進めることとなった。

馬場会長より、評議員に企業の方が少なくなっている問題について意見を求めたいとの発言があった。評議員に企業会員の枠を特別に作るのはどうかという意見があったが、努力目標程度でよいのではないか。事務局が良く見ている、案内の時に促すようにすればよいのではないか。事務局でバランスをとるようにするのが現実的な方法ではないかとの意見が出た。